

# 世界が驚く復興目指せ！ 新技術が築く未来の東北

継続学習制度  
(CPDS)  
認定プログラム  
(一社) 全国土木施工管理技士会連合会認定

建設技術公開

# EE東北'12

ENGINEERING EXHIBITION TOHOKU'12

## ガイドブック

EE東北実行委員会

# 「E E 東北' 12」開催にあたって

未曾有の傷跡を残した東日本大震災の発生から1年半が過ぎました。全国から東北地方に向けられた多大なご支援に対しまして心からお礼申し上げます。また、大震災により犠牲になられた方々に対し追悼の意を表しますとともに、被災されました皆さまには、心よりお見舞いを申し上げます。

「E E 東北」は、建設分野及び建設関連分野に係わる新材料・新工法、その他時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることを目的として平成2年度より始められましたが、昨年は、中止を余儀なくされました。

2年ぶり22回目の開催となる今年の「E E 東北' 12」では、『世界が驚く復興目指せ！新技術が築く未来の東北』をキャッチコピーとして、過去最多の295の出展者が661技術の展示を行います。

展示会では復旧復興工事を支援する技術分野を設け、免震・耐震技術、災害廃棄物処理技術、除染技術等の技術を展示しております。

また、特設ステージでは、“未来の東北”をキーワードに「復旧復興の分野」を重点テーマとした新技術プレゼンテーションが行われます。

復興元年であるこの機会に多くの方々から最新技術を見て、聞いて、触れていただくことで復興工事に、これら新技術が採用されることにより、復興を果たした新しい東北の姿を見せてくれることを期待しております。

最後に、今回の「E E 東北' 12」の開催にあたりご支援をいただいた関係各位をはじめ、多くの出展関係者の皆様に御礼を申し上げるとともに、震災の記憶を風化させず東北地方の復興とさらなる発展に向けた取り組みに対し、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年10月

「E E 東北' 12」実行委員会

委員長 東北地方整備局企画部長

森 吉 尚

## 建設技術公開「EE 東北' 12」の概要

### 世界が驚く復興目指せ！ 新技術が築く未来の東北

#### 目的

建設事業に係わる新材料・新工法その他、時代のニーズに対応して開発された新技術を公開し、その普及を図ることにより、技術開発を促進するとともに、良質な社会資本の整備を通じて社会に寄与することを目的としています。

※EEとは、英語のEngineering Exhibition（エンジニアリング・エキシビション）の略で、新技術を広く公開するという意味が込められています。平成2年から開催されており今回で22回目の実施となります。

（昨年度は東日本大震災の影響により中止となっています。）

#### 実施内容

##### ●開会式

10月24日(水) 10:00～ 「夢メッセみやぎ」屋内展示場前コンコース  
・あいさつ 東北地方整備局長、国土交通省来賓  
・開会宣言 EE東北実行委員長

##### ●新技術展示会

10月24日(水) 10:00～16:30 屋内展示場（A・B・C）  
10月25日(木) 9:30～15:00 屋外展示場及びアクセル駐車場

##### ●新技術プレゼンテーション

10月24日(水) 10:30～16:00 屋内展示場特設ステージ  
10月25日(木) 9:45～14:30

##### ●震災関連特設コーナー

屋内・屋外展示場特設コーナー  
開催期間中東日本大震災関連の特設コーナーを設置します

#### 主催

EE東北実行委員会（委員長：東北地方整備局 企画部長）

##### 【構成団体名】

社団法人日本建設業連合会東北支部、一般社団法人日本道路建設業協会東北支部、一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部、全国コンクリート製品協会東北支部、一般社団法人全国特定法面保護協会東北地方支部、東北建設業協会連合会、社団法人東北建設協会、社団法人日本埋立浚渫協会東北支部、一般社団法人建設電気技術協会東北支部、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東日本高速道路株式会社東北支社

#### 後援

公益社団法人土木学会東北支部、一般社団法人建設コンサルタント協会東北支部、一般財団法人日本建設情報総合センター、財団法人先端建設技術センター、河北新報社、日刊建設工業新聞社東北支社、株式会社日刊建設通信新聞社東北支社、日刊建設産業新聞社、株式会社建設新聞社、宮城県赤十字血液センター